

道徳の教科横断的授業の一例 ①

関連する教科書単元

道徳 1 学年 単元名「**ぼくの あさがお**」 国語（光村） 1 学年 単元名「**おおきく なった**」

道徳 2 学年 単元名「**元気に育て、ミニトマト**」 国語（光村） 2 学年 単元名「**かんさつ名人になろう**」

1 年 2 年複式授業	単元名	よく見て、しっかり考えて、かんさつ名人になろう！	4 時間
単元の目標	・道徳：身近な自然に親しみ，優しい心で動植物の世話をしたり，接したりする態度を育てる（自然愛護） ・国語：丁寧に観察した観点を上学年と下学年の関わりを通じて，協働しながら学び合う姿勢を育てる。 ・複式：異学年間での協力や，認め合う態度を培いながら学習の理解を深める。		
日本語の目標	・メモをもとに，順序や書き方の観点を絞って言葉や文章で詳しく表現する。 ・事実を正確に理解し伝達するために，観察したことや感じたことを記録し，整理して発表する。		
学習課題	1年 よく見て，くわしくかこう。 2年 かんさつ名人になって，書いて知らせよう。		
主な学習活動	・観察したことをメモに詳しく記録し，順序や書き方のポイントに気をつけて的確な観点を文章に表す。 ・読み手に伝わるように書けているか読み返したり，友達と読み合っ互いの工夫点を探したりする。		

学習活動計画

時限	内容	活動	ポイント
1	導入「道徳教材」	道徳「 ぼくの あさがお 」「 元気に育て、ミニトマト 」 主人公の心情と自分の経験を重ねて考えたことを発表する。	・道徳教材を読み，自然や動植物を愛し，自然環境を大切にしたい気持ちや自然と仲よく暮らすことの大切さについて考える。
	学習課題をつかむ	めあて かんさつ名人になろう ●単元の学習課題をつかむ	
	学習計画を立てる	「よく見て，しっかり考えて、かんさつ名人になろう！」 ・生活科で育てている植物の様子を想起し，「かんさつ名人になるために，ていねいにかんさつし，気づいたことをきろくしよう」という学習課題を設定し，学習の進め方を確認する。 1 どんな観点で植物を観察したら良いかを出し合う。 2 教科書の二つの作例から書き方の共通点・相違点を探す。 3 観察記録のメモの取り方を知る。	・教科書にない観点を見つけたら発表し，クラス全体で共有する。 ・意欲的に書けるように，作文を書く前に，「作文メモ」の工夫を提示する。
	家庭学習課題	教科書を読み，観察記録を書く時に大切なことを整理する。	音読学習

2	学習課題をつかむ	めあて かんさつしたことや感じたことを記録してみよう ●メモをもとに、順序や書き方のポイントに気をつけて書く。 ・観点を絞って詳しく書き、記録分に題名を付ける。 ●生活科で学習したことなどを参考に、観察するものを決め、イラストや吹き出しも加え、観察記録文を書く。 ・知らせたいことを決め、五感を使って、細かく観察して必要な事柄を集めて書いている	・見たこと、聞いたこと、 においなどの違いなど観察 して気づいたことをメモに 取り整理する。 ・五感のどの部分に当たる のか押さえる。
	家庭学習課題	書き終えられなかった記録文を仕上げる	
3	学習課題をつかむ	めあて かんさつ名人をさがしてみよう 全ての記録文を教室に掲示し、みんなで相互評価をして、友達の表現の中で、自分が良いと思った工夫を話しあう。 ・観察の観点や書き方について助言し合う。 ・読み手に伝わるように書けているか読み返す。 ・友達の記録文を読み合い、様々な観点から観察する事で、様子を詳しく記録できることを確かめる。	・それぞれの表現や視点の おもしろさを探して、認め 合う交流の時間を設ける。
	家庭学習課題	友達の作品のよく観察できているところ、よく表現できているところを参考に、自分の観察記録文を書き直す。	・海外子女文芸作品コンクール出品へ

